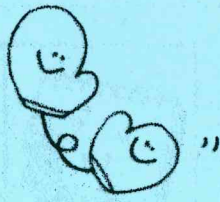


子育てニュース

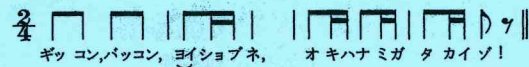


青梅みどり第二保育園 平成29年度(2018年)2月発行 No.11

こんにちは。青梅みどり第二保育園の子育てニュースです。
いつも読んでいただきありがとうございます。
暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。先月は雪が降りつも子どもたちは大はしゃぎでした。
雪の上でももいっきり雪遊びを楽しんで寒い冬を元気に過ごしています。
今年度も残り2か月を切りました。1日1日を大切に、今月もおもいっきり楽しんで過ごしていきたいとおもいます。



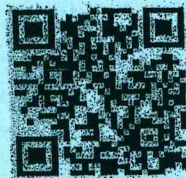
遊ぶうた



子どもをひざのせ、両手で子どもの背中を支え、大人もいっしょに体を前後に倒したり、起こしたりして遊ぶ。
2歳後期では、大人と三～四人の子どもで足をのぼして、まるくなって坐り、肩ぐりをして体を前後に倒したり、起こしたりして遊ぶ。

お子さんとぜひ
やってみてください♪

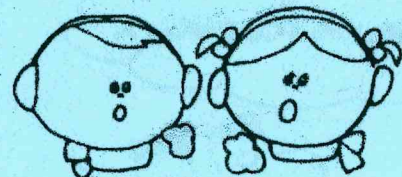
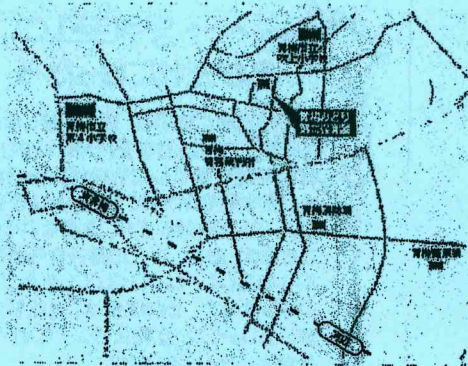
〒198-0031
東京都青梅市師岡町1-113-20
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
青梅みどり第二保育園
☎0428-24-7400



保育園 HP



保育園Map



知っておこう！冬のスキンケア

冬は空気が乾燥し、皮膚がカサカサと荒れ、かゆみが出ることがあります。園でも日常的にお子さまのスキンケアに気を配っていますが、ご家庭でも、外出から戻ったときやお風呂上がりなど、スキンケアを心がけていただくよう、お願いします。

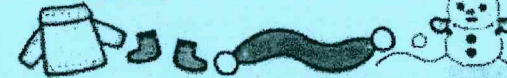
子どもの肌が荒れやすいワケ

子どもは、肌のバリア機能が未発達なので、乾燥すると、そのバリア機能がどんどん失われるため、荒れていくのです。肌を保護するバリアが弱い状態なので、乾燥肌が進むと、あかぎれや痒しんなど、さまざまな皮膚トラブルが出やすくなります。



スキンケアの基本は、清潔と保湿

清潔と保湿が、健康な皮膚を作る基本です。外あそびや手洗いのあと保湿クリームを塗るなど、日常的なケアを心がけましょう。また、冬でも半そでで過ごすお子さんがいますが、冬に肌を出している、肌の状態が悪くなる場合があります。乾燥肌が気になる場合は、長そで・長スポンを着用したほうがよいでしょう。



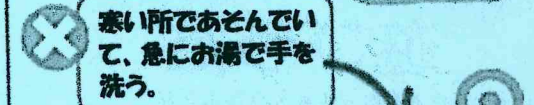
あかぎれになったら

皮膚が極度に乾燥し、割れがなくなることで外からの刺激を受けやすくなり、割れて炎症を起こしたものがあかぎれです。基本的なケアは、ワセリンなど油分が入った保湿剤を塗り、血行をよくすることです。ただ、切れた部分から細菌感染を起こして、じくじくしてしまうことがありますので、その場合は、皮膚科を受診しましょう。抗生物質やステロイド剤で治療することもあります。



気をつけよう！しもやけ

しもやけは、皮膚が温度差に耐えられなくなり、血行が悪くなることで起こります。手足を急な温度変化にさらさないように気をつけましょう。



手を洗ったらよくふきましょう。

